

あおもり市議会だより

森の ぎかい

平成30年第2回定例会の内容を
よりわかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 6

平成30年8月

特

集

高校生

in あおもり

目次

特集	P 2
可決された主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 16

写真：6月28日開催の「市議会議員とのワークショップ」(2回目)に
おけるグループワークの成果発表の様子

特

集

高校生

in あ お も り

青森南高等学校では、2学年生徒の総合的な学習の授業の時間を利用して、ことしの5月から7月にかけて「市議会議員とのワークショップ」を行いました。このワークショップでは、生徒がグループワークを通じて考えた政策を提案することとしており、前回、平成28年度に行った際には、スノーチュービングコースの設置*といった実際に市民サービスに反映された提案も行われています。今回は高校生がテーマということで、このワークショップへの参加が縁で同校の生徒さんに行ったインタビューの様子を掲載します。

*モヤヒルズのイベント期間中に特設コースとして設置



今回、インタビューを担当したのは、後段左から舘山委員、橋本委員、渡部委員長の3名。参加してくれた高校生は10名でした。高校生から見た「議員」の印象とは果たして……。

【議員】

今回、総合的な学習の授業

の時間で「議員とのワークショップ」を実施しています。ワークショップを行う前の議員の印象はどうでしたか？

【高校生A】

料亭、黒い車、東大、

京大、早稲田、慶応（笑）。

【議員】

テレビで見る国会議員のイ

メージですね（笑）。

【高校生B】

かたい（まじめ）、子

どもと余り話をしなさそう。

【高校生C】

頭がよくて忙しそう。

でも市議についてはよく知らない。



議員とのワークショップの様子です。1回目は学校の体育館にて、各クラスを議員1名が担当する形で行われました。

【議員】

そうですね（笑）。では、

ワークショップ後の議員に対する印象は変わりましたか？

【高校生D】

聞きたいデータをとっ

てきて、まじめにやってるな

（笑）。

【高校生E】

気さくな方もいて、こ

ういう人もいるんだな。

【高校生F】

スーツで、おやじと変

わらないな。

【高校生G】

普通にすばらしい人

(笑)。

【議員】 ありがとうございます(笑)。

青森市は好きですか？また住みやすいですか？

【高校生H】 はい！田んぼがあって

田舎っぽいところが好きです(笑)。そこをもっとPRしてほしいです。

【高校生I】 とても住みやすいと思います。

【議員】 もっと住みやすいまちにするには、どんなところがよくなればいいと思いますか？

【高校生J】 自転車通学をしていますが、信号がなかったり、道路も悪くて自転車乗りづらいので、道路をよくしてほしい。

【高校生A】 バス通学ですが、青森駅からのバスの便が悪いので、改善してほしい。

【高校生B】 セントラルパークや野木和公園に、バスケットボールの

コートがあるとよい。

【高校生B】 スケートボードを町なかで乗って怒られたことがある。スケートパークをつくってもらえるとうれしい。

【高校生D】 子どもが勉強や運動のできるイベントをやってほしい。

【議員】 最後に市や議員に対して言いたいことがあれば、聞かせてください。

【高校生D】 そんなくないでほしい



まじめな議員(笑)とインタビュー中の高校生たち。素直な感想から鋭い意見まで、さまざまな意見が出されました。聞く側の議員も真剣です。

い(笑)。

【高校生F】 青森駅前のシャッター街を何とかしてほしい。

【高校生G】 市民図書館をもっと使いたくしてほしい。

【高校生H】 貴重な観光資源、ねがた祭で正装していない人が多い。祭りの間の部分(治安が悪い、カラス等)の警備をもっと厳重にしてほしい。

【高校生I】 最低賃金を上げて！

【高校生J】 農業をしやすいようにしてください！

【高校生A】 青森市に貢献したい。とにかく働きやすいまちにしたいです。

【議員】 わかりました。皆さんの御意見も参考にさせていただきます。よりよいまちづくりに議員も頑張ります。本日は、貴重なお時間をいただきました。本当にありがとうございました。

青森市議会

議決した主な議案です。

●平成30年第2回定例会

会期24日間 6月6日～6月29日

●第2回定例会で可決等した

議案・請願等

市長提出議案21件中……………21件
 (可決19件、同意1件、承認1件)
 議員提出議案7件中……………4件
 (可決)
 諮問6件中……………6件
 (棄却すべきと答申)
 請願1件中……………1件
 (採択)

■以上の中から主なものをお知らせいたします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでごらんいただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

平成30年度6月補正予算を

可決しました

今期定例会では、予算に関する議案として一般会計補正予算案1件が提案されました。

この補正予算案は、「ふるさとものづくり支援事業」として、一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）の補助金を活用し、LED信号灯着雪・凍結防止融雪ヒーター等の開発を行う事業者に対し開発経費の一部を補助する予算（90万1千円）等が盛り込まれた内容となっています。

市議会では、この補正予算案について、原案のとおり可決し、その結果、青森市の平成30年度の一般会計の予算額は、次のとおりとなりました。

●平成30年度青森市一般会計

補正予算額

1千万7千円

補正後の予算額

1千227億5千600万7千円

その2

「子どもの遊び場づくりに関する請願」を採択しました

今期定例会では、「子どもたちが天候や季節に左右されず、多様な遊び方ができるスペース等を確保し、地域の団体、住民等により子どもたちを見守る体制を築くこと」を求める内容の請願が提出されました。

この請願の提出に際しては、本市に子どもの遊び場を求める方々からの2万筆を超える署名が市長に提出されており、議員からも「地域・保護者も交え工夫して進めてほしい」、「アリーナにこのようなスペースをつくってほしい」などの意見が出されました。

市議会ではこの請願について、全会一致で採択しました。



その3

利用料金制を導入する
公共施設がふえます

- 青森市りんご貯蔵選果施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市幸畑墓苑条例の一部を改正する条例の制定について

今期定例会では、指定管理者制度により運営を行っている「青森市りんごセンター」及び「青森市幸畑墓苑」について、利用料金制を導入するための条例の改正案が提出されました。

利用料金制の導入により、指定管理者は利用者をふやす自主的な経営努力を発揮しやすくなり、創意工夫によるさまざまな取り組みが行われやすくなるため、市民サービスの向上につながることにもなります。

市議会では、両議案について、全会一致で可決しました。



利用料金制に移行する青森市幸畑墓苑

その4

議員定数の削減に関する条例
案は否決しました

- 青森市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

今期定例会では、閉会日に議員提出議案として、現在の議員定数35人を次の市議会議員一般選挙の告示の日から32人に改正する条例案が提案されました。

議場では、「人口減少が進む中、効率的な議会運営に努めるため、4常任委員会を8人の委員で運営する想定で32人とした」との提案理由の説明に対し、「定数削減は必要ではないが、議会でしっかりと議論してから決めるべきである」、「有権者数はほぼ変わっており、削減の合理的な理由はない」、「議会がみずからを律する意味でも削減を行う必要がある」などの意見が出されました。

市議会ではこの議案について、起立採決の結果、賛成少数（賛成15、反対19）で否決しました。

質
問
・
質
疑

こんなことを

聞きました。

第2回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第2回定例会

一般質問	24名
予算特別委員会	21名

※本会議での一般質問等の様子は、下のQRコードからアクセスできる議会中継でご覧いただけます。



◆各議員の質問・質疑は6ページから15ページにかけて掲載しています。



防 災



防災情報システムの導入について

新政無所属の会 奥谷 進おくや すむ

Q 災害発生時には迅速な情報収集・情報伝達が重要と考えますが、市が導入するとしている防災情報システムの今後の整備スケジュールをお示しください。

A 防災情報システムの導入に向けたスケジュールについては、平成29年度にシステム全体の方向性を示す基本設計を取りまとめたところであり、今年度は、この基本設計をもとに災害対策本部機能のシステムについて実施設計を行うこととし、新市庁舎整備に合わせ、システム整備を行う予定としています。

庁 舎



駅前庁舎の案内表示について

市民クラブ 奈良 祥孝なら しょうこう

Q 駅前庁舎は、場所によりトイレやエスカレーターの表示がわかりにくいいため、よりわかりやすい案内表示を検討いただきたいと思います。市の考えをお示しください。

A 市では、駅前庁舎については来庁者を窓口等にわかりやすく誘導できるように配慮した案内表示を設置しましたが、供用開始後に職員からの提案などもあり、現在、床面を利用した案内表示等の設置の準備を進めています。今後案内表示については必要に応じ改善するとともに、来庁者をスムーズに誘導できるよう努めてまいります。

広域連携



連携中枢都市圏について

市民クラブ 工藤 健くどう けん

Q 人口減少社会にあつては限られた資源を最大限生かすため、広域で連携しながら行政サービスの充実を図る必要があります。東青地域においては青森市が率先して連携中枢都市圏に関する取り組みを進めるべきと考えますが、市の考えをお示しください。

A 市では、広域連携に関する取り組みはまちづくりを進める上で非常に意義のあるものと認識しており、今年度改定作業を進めている総合計画の審議会において、広域的な連携のあり方を含めて議論を進めたいと考えています。

施設管理

指定管理者制度
導入済みの171施
設のうち、八甲
田丸、ワ・ラッ
セ等21施設で導
入しています。



中央埠頭から見た八甲田丸等

Q 指定管理者制度における利用料金
制の導入に対する市の考えと、実
際に利用料金制を導入している施
設をお示しく下さい。

A 利用料金制は、指定管理者にとつ
ては自主的な努力による収益の増
が、市民にとってはサービスの向
上が、市にとっては施設の設定目
的の効果的な達成がそれぞれでき
ることから、効果が認められる施
設には積極的に導入することとし
ています。平成30年4月現在では、



指定管理者制度における
利用料金制導入について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとむ

アリーナ プロジェクト

A アリーナ建設については現在検討
段階にあり、今後事業費や財源が
見込まれ次第、市の財政計画等に
反映することとなりますが、この
ような大規模プロジェクトは今後
の財政運営に及ぼす影響が大きい
ため、補助金等の活用など財源確
保に努め、持続可能な財政運営を
図ってまいります。

Q アリーナの建設費用は80億円とも
言われ、関連事業として自由通路
や新駅が積み上がる可能性もあり、
財政が非常に厳しくなると危惧し
ますが、アリーナ建設に伴う市の
財政見通しをお示しく下さい。



アリーナ建設に伴う
財政見通しについて

日本共産党 藤原 浩平
ふじわら こうへい

雇用・労働

A 市ではテレワークによりこの両者
をつなぐ取り組みとして、首都圏
等の企業が本市の人材を活用して
業務を行うサテライトオフィスの
立地に県と連携し取り組んでおり、
自営型テレワークについては、ホー
ムページ等を通じ、自営型テレワ
ークを始めた人
人に有益な情
報の提供に努
めたいと考え
ています。

Q 働き方改革の柱の一つとしてテレ
ワークが挙げられます。テレワ
ークによって人手不足が深刻な首都
圏の企業と本市の働き手をつなぐ
役割を市が担ってはどうかと考え
ますが、見解をお示しく下さい。



テレワークによる
働き方改革について

公明党 軽米 智雅子
かろまい ちかこ



緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

スポーツ振興



スポーツ振興について

自民清風会
渋谷 勲しぶたに いさお

Q 市のスポーツ振興を図るには、優秀な指導者の育成と市に定着する取り組みが必要と思いますが、市の考えをお示しください。

A 市でも、スポーツ振興のためにはこれらの取り組みが重要と認識しています。このため、今年度設立を目指している「スポーツコミッション青森」の中で、優秀な指導者の育成に加え、実績のある選手が指導者として定着できる仕組みの構築について検討することとしており、この取り組みを通じ、市民がスポーツに取り組める環境づくりを進めたいと考えています。

スポーツ振興



スポーツ公園北側駐車場の満車の解消について

新政無所属の会
中村 美津緒なかむら みつお

Q 近年、利用者の拡大からスポーツ公園北側の駐車場が慢性的に満車となり、その影響で付近に渋滞が発生しています。この解消に向け、満車を示すサイン表示板の設置や駐車場の増設が必要と思いますが、市の考えをお示しください。

A 市では、駐車場の拡張については敷地面積等の関係から困難と考えますが、大会等の際には利用者に對し南側の駐車場の利用を促すなど、指定管理者を通じて周知を図っていくほか、満車の状況がわかるような方法についても、同者と協議し、調整したいと考えています。

農林水産



リンゴ黒星病の発生状況について

日本共産党
天内 慎也あまない しんや

Q 浪岡地区のリンゴ農家からリンゴ黒星病が非常に深刻だという声が寄せられていますが、本市の発生状況についてお示しください。

A 本市のリンゴ黒星病の発生状況について、青森農業協同組合では、浪岡地区の一部で発生が確認されているとのことであります。県において6月下旬以降に実施を予定している本市を含む県内全域での調査を参考にしながら、市においても黒星病の被害が拡大するといわれる梅雨明け以降の時期に調査を行い、発生状況の把握に努めたいと考えています。

農林水産

後とも本事業を周知し、一層の普及に努めていきます。



浪岡地区でのグリーン・ブルーツーリズムの様子

Q 市では、平成28年度からグリーン・ブルーツーリズム活動支援事業を拡充し、農・漁業者や関連事業者の活動を支援するとしていましたが、事業の概要と実績をお示しく下さい。

A 本事業は、グリーン・ブルーツーリズム活動を実践する農・漁業者等を対象に、新たに農漁村体験民宿を始めるための経費等を補助するもので、平成28年度は2件で20万3千262円、平成29年度は4件で114万6千297円の補助を行いました。市では今後とも本事業を周知し、一層の普及に努めていきます。



グリーン・ブルーツーリズム活動の支援について
自由民主党 長谷川 章悦
はせがわ しょうえつ

農林水産

助しており、平成29年度は9件の補助を行っています。



スピードスプレーヤーに乗ってみました

Q 市では平成27年度までリンゴ生産者に必須の機材であるスピードスプレーヤーの購入等に助成を行っていました。再度検討いただきましたが、考えますが、リンゴ生産支援に係る現在の補助制度である果樹生産防除機械・施設整備事業の概要と実績についてお示しく下さい。

A 本事業は、その時々で需要のある施設整備費等に対し支援を行うものであり、平成28年度からは、災害に強い園地づくり等のため、リンゴ防風網の張りかえに要する経費について補助しており、平成29年度は9件の補助を行っています。



リンゴ生産者に対する支援について
公明党 山本 武朝
やまもと たけとも

農林水産

携し、計画的に取り組んでいきます。



幸畑地区での圃場整備の様子

Q 農家の高齢化が進む中、農地の区画の整形や大型機械の導入が可能となる圃場整備事業を推進すべきと考えますが、本市における現在の圃場の整備状況と今後の見通しをお示しく下さい。

A 本市では、平成29年度末時点で、市全体の水田総面積5千270ヘクタールのうち3千961ヘクタールで圃場整備が完了し、現在は荒川中部など5地区で事業を実施しています。また、今年度から三本木・滝沢地区の調査計画に着手しており、今後とも事業主体である県等と連携し、計画的に取り組んでいきます。



圃場の整備状況と今後の見通しについて
自民清風会 木戸 喜美男
きど きみお

教 育



学力向上の取り組み
について
新政無所属の会 奈良岡 隆なろうおか たかし

Q 全国学力テストにおいて、本市の中学校は小学校よりも順位が下がる傾向にあり、その要因の中に小学校から中学校への接続段階でのつまずきが考えられるとのことですが、その解消に向けた市教育委員会の対策をお示しください。

A 市教育委員会では、小・中学校の6・3制は時代に合わないのではないかとこの考えから、学習指導上4・3・2と分け、小学校5年生から中学校1年生までのところに少人数学級や教科担任制を取り入れるなどし、接続段階でのつまずきを解消したいと考えています。

教 育



性的マイノリティーへの
取り組みについて
社民党 仲谷 良子なかや りょうこ

Q 昨今、性的マイノリティーの当事者が直接語ることがあるようになり、本市においても子どもたちが多様な性へのあり方を学ぶに当たり、性的マイノリティーの当事者から話を聞く機会があればよいと考えますが、市教育委員会の考えをお示しください。

A 性的マイノリティー等の当事者を招いて授業を行うとした場合、子どもには個人差があること、また性的マイノリティーとされる子どもの中にはそのことを秘匿したい場合もあるなど、十分に配慮しながら行うべきものと考えています。

教 育



浪岡地区学校支援
連絡協議会について
新政無所属の会 小倉 尚裕おぐら たかひろ

Q 平成30年度、新たに発足した浪岡地区学校支援連絡協議会は、保護者や地域のニーズを反映させる、いわゆるコミュニティ・スクールに近いものと考えますが、同協議会の今後の方向性について、市教育委員会の考えをお示しください。

A 同協議会は、ビジョンや目標を地域住民と共有し、一体となって子どもの教育に取り組むという部分においてコミュニティ・スクールと重なる部分があり、同協議会の設置は、地域とともに学校をつくっていくという考え方に立った望ましい方向性であると考えます。

都市整備



青森駅自由通路整備

について

自由民主党
中田 靖人
なかつた やすひと

Q 市は平成30年6月6日、青森県、

青森商工会議所、ＪＲ東日本と協定を締結し、駅周辺のまちづくりに関する取り組みを推進するとしていますが、今年度工事着手予定の青森駅自由通路整備に係る今後のスケジュールをお示しくください。

A 青森駅自由通路については平成29

年度にリングの木箱のデザインをベースに実施設計を行っており、今後、青森県及びＪＲ東日本と青森駅自由通路の工事施工に係る協定を締結し、平成32年度末の供用開始を念頭に工事に着手する予定となっています。



青森駅のバリアフリー化
について

市民クラブ
秋村 光男
あきむら みつお

Q 青森駅構内にはホームと連絡通路

をつなぐエスカレーターはありますが、基本的に上りしか使えないため、バリアフリーとは言えない状態となっています。今後の駅舎のバリアフリー化に当たって、青森県、ＪＲ東日本はどのように考えているのかお示しくください。

A 青森駅ホームのバリアフリー化に

ついては、いわゆるバリアフリー法に基づき、鉄道事業者である青森県とＪＲ東日本が行うこととしており、各ホームに新たにエレベーターを設置する予定と伺っています。

都市整備



市営住宅小柳第一団地の
児童遊園について

日本共産党
山脇 智
やまのけ さとし

Q 小柳第一団地の建てかえにあわせ

て整備される児童遊園について、バスケットゴールがあれば子どもを遊ばせられるなどの意見も伺っていることから、子どもが遊びやすい環境をつくるために地域住民の意見を聞くことが必要と考えますが、市の見解をお示しくください。

A 当該児童遊園の具体的な検討は今

後となりますが、基本的には現在の機能を維持していくこととなり、限られた敷地のため広い施設は難しいものと考えますが、地域の方からの御意見も伺いながら、その機能についても考えていきます。

都市整備

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

都市整備

についても状況
に応じ、適宜
対応したいと
考えています。



橋本地区の緑地

A

公園等の樹木の管理に当たっては、職員による日常点検のほか、市民からの情報・相談等も踏まえ、緊急度や優先度を判断した上で剪定、伐採を行うなど、適切な維持管理に努めています。間伐・植栽についても状況に応じ、適宜対応したいと考えています。

Q

公園等の樹木の中には、老木のほか民家に倒れるおそれのあるもの、鬱蒼と茂り日当たりを悪くしているものもあり、そのような樹木については間伐し、後で植栽するといった考え方もありますが、市の考えをお示しください。



公園等の樹木の管理
について

社民党 斎藤 憲雄
さいとう のりお

都市整備

野木和公園入口のバス停を利用いただき
たいと考えて
います。



野木和公園入り口にて

A

市では、そのような声を受け、平成30年度の春まつり期間中に現地調査を行いました。大型バスを回転させるスペースの確保や、歩行者の安全面において課題があるため、現状においては、最寄りの野木和公園入口のバス停を利用いただきたいと考えています。

Q

野木和公園は花見等も行っていますが、なかなか人が集まらないのが現状です。活性化に向け、若い方だけでなく高齢の方にも来ていただけるよう、花見期間中にバスの乗り入れをすべきと思いますが、市の考えをお示しください。



野木和公園の
活性化について

自民清風会 館山 善也
たけやま よしや

都市整備

国や県などで導入されているこの契約方式は、除排雪業者による通年での道路パトロールにより的確な道路管理につながるものですが、除排雪業者が必ずしも全て維持補修に対応できないなどの課題も多く導入には至っていないところであります。市では引き続き、導入の可能性について調査してまいります。

A

国や県などで導入されているこの契約方式は、除排雪業者による通年での道路パトロールにより的確な道路管理につながるものですが、除排雪業者が必ずしも全て維持補修に対応できないなどの課題も多く導入には至っていないところであります。市では引き続き、導入の可能性について調査してまいります。

Q

今期は除排雪終了後の道路の破損等が目立っているため、除排雪作業と維持補修作業を合わせた地域維持型契約方式を幹線・補助幹線等で試験的に実施すべきと思いますが、市の考えをお示しください。



地域維持型契約方式の
導入について

自由民主党 大矢 保
おおや たけ

都市整備



A 市では、県の都市計画道路見直しガイドラインに基づき、都市機能上の必要性や代替道路の有無、事業の実現性等を評価指標とする路線評価カルテを作成し見直しを行っており、平成19年度から23年度にかけては6路線を廃止しましたが、平成26年度の2回目の見直しでは変更を行っていないところです。

Q 都市計画道路の中には50年以上たっても未着手のものもあり、計画予定地内の土地所有者が不満に思う場合もあります。長期間未着手の道路について、市では見直し等を行ってきたのかお尋ねします。



都市計画道路について

市民クラブ
木下 靖
きのした やすし

交通



A この実証実験運行は、訪日外国人の方に人気の高い観光地である浅虫温泉や昭和太田などを経由する東ルート（7月21日から8月19日まで）の30日間、1日当たり15便を試験的に運行することとしています。市では今回の運行結果を踏まえ、二次交通としての「ねぶたん号」のさらなる利便性の向上に努めていきたいと思います。

Q 今年度行われる青森市シャトル・ルートバス「ねぶたん号」の東ルートでの実証実験運行の内容についてお示しください。



「ねぶたん号」の実証実験運行について

社民党
藤田 誠
ふじた まこと

交通

A 小柳団地入口と小柳小学校前のバス停については、これまでは歩道幅が狭く待合所の新設は難しい状況でしたが、市営住宅小柳第一団地と小柳小学校建設事業の実施により用地確保の可能性が出てきたため、今後、関係機関と協議し、検討を進めることとしています。

Q 現在、市営住宅小柳第一団地と小柳小学校の建てかえが進んでいますが、これらの事業と連携し、利用者の多い小柳団地入口と小柳小学校前のバス停に待合所を整備すべきと思いますが、市の考えをお示しください。



バス待合所の整備について

公明党
赤木 長義
あかぎ みちよし

アリーナプロジェクト



アリーナへの子ども遊び場の設置について

公明党 渡部 伸広
わたなべ のぶひろ

Q 子どもたちの冬場の運動不足等を考えると本市にも屋内型の遊び場が必要であり、アリーナにはこのような施設を入れるべきと考えますが、市の考えをお示しく下さい。

A 市では、駅前庁舎2階のさんぽぼ等、市内各所に子どもの遊び場を確保していると認識していますが、一方で冬の遊び場の設置の声があることも承知しています。アリーナへの子ども遊び場の整備については、現在、その機能や規模の意見を伺っている青森市アリーナプロジェクト有識者会議に伝え、議論いただきたいと思います。

福祉



視覚障がいのある方への就労支援について

新政無所属の会 丸野 達夫
まるの たつお

Q 近年、IT技術の普及を背景に、視覚障がいのある方が就職する職域が拡大しており、市役所での雇用も検討してほしいと考えますが、本市で就労系の障がい福祉サービスを利用している視覚障がいのいる方の人数をお示しく下さい。

A 本市には、平成30年4月1日現在で視覚障がいのある方は719人おり、就労系の障がい福祉サービスのうち雇用契約に基づかず、就労の機会等の提供や必要な訓練を実施する就労継続支援B型を利用している方は6人おります。

福祉



みなし寡婦控除に係る今後の対応について

日本共産党 村川 みどり
むらかわ

Q 未婚のひとり親家庭に対する寡婦控除のみなし適用は所得税法等では適用されないため、国に法改正を働きかけてほしいと考えますが、市のみなし寡婦控除の適用状況と、今後の対応をお示しく下さい。

A みなし寡婦控除については、市では独自に7事業に適用しています。が、他の事業についても、国の制度改正の内容を踏まえ、適切に対応していきます。なお、寡婦（夫）控除については婚姻歴の有無により負担に差異が生じていることから、平成29年度に中核市市長会として国に要請しているところです。

福祉



児童虐待の現状と

市の対応について

自民清風会 小豆畑 緑
あずはた ぞり

Q

児童虐待の未然防止には、市民や地域の協力が必要と考えますが、本市の児童虐待の現状と、相談や通告があった際の対応についてお示しく下さい。

A

本市の児童虐待に係る平成29年度の相談件数は、身体的虐待が27件、性的虐待が1件、心理的虐待が23件、ネグレクトが60件です。市では相談等が寄せられた際には、保育所、学校等関係機関と連携し速やかに児童の安全確認を行うとともに養育状況を調査し、状況に応じて児童相談所への連絡、送致等を行っています。

福祉



終活支援に係る

市の取り組みについて

日本共産党 館田 瑠美子
たてだ るみこ

Q

横須賀市では平成30年5月から、市民が終活関連情報を生前に登録する「わたしの終活登録」制度を実施していますが、本市も同様の取り組みができないか、市の見解をお示しく下さい。

A

市では、一人一人が人生の最期を考えそのときを迎えることは、その人らしく生きていく上で大切なことと認識しています。終活支援については現在、先進地等に照会しながら検討しており、横須賀市の制度は承知していますが、本市の実情に合った終活支援のあり方を検討したいと考えています。

福祉



認知症初期集中支援

チームの周知について

無所属 橋本 尚美
はしもと なおみ

Q

平成29年2月に市が設置した認知症初期集中支援チーム（医師を含む）は、「広報あおもり」に1度紹介されたきりであり、これまでの活動実績もわずか1件と聞いています。もっと積極的に周知を図るべきと思いますが、市の考えをお示しく下さい。

A

当該支援チームは、地域包括支援センターが行う認知症の相談支援体制をバックアップし、より専門的な支援を行う位置づけとしています。市としては、より多くの市民に知っていただくため、周知啓発に努めたいと考えています。



議員とカダる会を開催しました



アウガ会場の様子。当日の報告書は市議会ホームページでごらんいただけます。

平成30年5月17日（木）に議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）を、市内2会場（アウガ、中央市民センター）で開催しました。今回は30名の皆様に御参加いただき、まことにありがとうございました。当日は、平成30年第1回定例会に関する議会からの報告と、ワールドカフェ形式による意見交換会をさせていただき、多くの貴重な御意見をいただきました。市議会では、今後の活動に大いに生かしてまいるとともに、引き続き市民の皆様との対話の場の設置に努めてまいります。

全国市議会議長会の表彰が行われました

今期定例会では、長年市政の振興に努められた次の方々に表彰状の伝達が行われました。



議場での表彰状の授与の様子

☆特別表彰

【議員在職40年】

小田桐 金三

【議員在職20年】

斎藤 憲雄

花田 明仁

☆一般表彰

【議長在職4年】

大矢 保

【議員在職15年】

里村 誠悦

小豆畑 緑

「ぎかいの森」が優秀賞を受賞しました

4月21日から22日に開催された中核市議会議長会総会の議会報コンクールにおいて、あおもり市議会だより「ぎかいの森」が優秀賞を受賞しました。審査員からは、特に「可決された主な議案」や、「質問・質疑」の編集の仕方について賛意をいただきました。

市議会ではこれを励みに、より市民の皆様に関心しやすい議会報となるよう、今後も努力してまいります。



傍聴者の声から

平成30年第2回定例会を傍聴された方から寄せられた御意見等を御紹介します。

●議員の質問に自殺対策があり、傍聴できてよかったです。本人は周りに見せなかったり、思いつめて思考力がなくなったりしているので、「声にならない声をともに言葉にしていこう!!」という議員のおっしゃった姿勢は大変ありがたいと思います。つらい病気を抱えられていても、少しずつ心は上向きになれるよう、お手伝いを願います。

平成30年第3回定例会のお知らせ

平成30年第2回定例会には77人の傍聴者にお越しいただきました。次回は次の期日での開催予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- ・ 8月29日 開会
- ・ 9月4日～7日 一般質問
- ・ 9月11日 総括質疑
- ・ 9月27日 閉会

※ 会期については、変更の可能性ありますので御了承ください。

※ 本会議は午前10時からです。



傍聴者入口は議会棟東側です。

編集後記

委員 山本 武朝

うれしい報告があります。このたび、本誌「ぎかいの森」は、中核市議会議長会（52市参加）の議会報コンクールにおいて「優秀賞」を受賞いたしました。大変ありがとうございます。委員一同、これを励みにこれまで以上にわかりやすく、ためになる広報誌を目指してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。